

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年4月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691000048
法人名	株式会社 小園
事業所名	グループホーム すもも
所在地	鹿児島県指宿市東方2337番地9 (電話) 0993-25-6001
自己評価作成日	平成25年1月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www kaigokouhyou jp/kaigosip/Top do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年3月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

常に職員・利用者が笑顔で毎日生活を送れるようにしている。自尊心を傷つけないように配慮すること、プライバシーを守るなど基本的なことを中心に支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・庭には、びわの木や梅・レモン・すももの木などが植えられ、季節感あふれる環境となっており、入居者と職員が一緒に収穫を楽しんでいる。ホームの周りには畑があり、小鳥のさえずりが聞こえるなど、自然に囲まれた中で落ち着いたリズムのある生活が送られている。

・理念は、地域住民と職員が一緒に考えたもので、入居者が活き活きとした表情で生活している。

・管理者と職員は何でも話せる状況で、色々な意見や要望を出し合い、思いを言える雰囲気を大切にしている。また、職員の資質向上のために、外部研修会や勉強会などに、積極的に参加できるように配慮している。

・排泄の自立支援では、全職員が一丸となっておむつ外しに取り組んでいる。日中は、さりげなくトイレへ誘導して、トイレでの排泄の自立に向けた支援をして、状況も良くなっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域の中のグループホームと言うことで施設長及び全員で理念をつくり、共有して実践につなげている	職員や地域代表の意見を集約して、地域密着型サービスの意義をふまえた理念を作成している。理念は玄関や事務所・ホールに提示し、ミーティングやケア時・朝礼時に確認し合い、日々のケアに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の中の行事には全部ではないが参加している。また、地域のボランティアもあり交流はできている。	地域行事の十五夜や敬老会・公民館通りの清掃・花植え・草刈り等に参加している。ホームへ近隣住民のピアノ演奏や見学訪問・ボランティア訪問も定期的に行われている。学生の職場体験やホーム敷地を地区運動会に解放するなど、日常的に交流が行われている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域貢献はなかなか思うように出来てはいないが、相談等は受け入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者の家族や入居者及び行政の参加により、少しずつではあるがサービスの向上に努めている。	会議は市職員や民生委員・家族代表等の多数の参加者で定期的に開催されている。施設の現状や地域の課題・行事参加への呼びかけ・防災についてなど、貴重な意見などを話し合い、運営に反映されている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	定期的に、市の担当者へ出向き横の連絡は取っており、指示を仰いだり、サービスの質の向上に取り組んでいる。	市の担当者とは、ホームの運営や利用者のサービスについて相談したり、利用者の暮らしづくりを紹介した「すもも便り」を、毎月、届けている。情報をもらったり、アドバイスを受けながら、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	開設当初より「身体拘束ゼロ」をモットーに取組んでいる。それを基本にケアに取組んでいる。	身体拘束ゼロの指針やマニュアルを作成し、勉強会や研修会・職員会議等で、日頃から意識の統一をはかっている。事例検討や振り返りをしながら、確認に務めている。日中の玄関の施錠はせずに、職員の見守りで自由な暮らしを支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	身体的虐待はもちろんのことであるが、言葉の虐待や金銭的虐待なども含め、常に注意を払いながらのケアに取組んでいる。			
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	特に権利擁護に関する勉強会は設けてはいないが、今後必要に応じて実施していきたい。			
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に家族を中心に十分な説明を行い、理解・納得を得ています。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	特に意見等を聞く機会は設けてはいないものの、常に家族・入居者との話し合いは出来ていると思われる。	利用者には、日常の会話や些細な表情や仕草等で思いを把握するようにしている。難聴の利用者など、それぞれ個性に合わせた対応を心がけている。家族からは、家族会や来訪時・電話やホーム便りと一緒に生活状況を報告し、思いや要望を聞き、運営に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月定例の職員会議を実施しており、その際には、運営者も参加し職員の意見を聞く機会を設けている。	代表者や管理者は、職員会議などで、話し合う場を設けて、思いや意見を聞いている。日常的に業務体制や資格取得等の研修参加・プラン作成など、話し合いをして、意見の反映がされている。個人的にも思いを聞く時間を設けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	開設時から就業環境が少しずつ改善されており、職場環境・条件などの面は整備されて働きやすくなっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内研修を実施したり、他の研修に参加してケアの質の向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、同業者との交流を積極的に行ってネットワーク作りをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前には、なかなか利用者からの声が届かない状況にある。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居直前にならないと、家族からの不安等は聞こえてこないが、なるべく家族の気持ちになり、関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時点で内容をよく検討し、施設で対応できない場合等は、地域包括支援センター等に相談している状況にある。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居という感覚でなく、共に生活する場所であるということを念頭に置いて支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	常に家族と共に本人を支えている。			
20 8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場所の関係は、入所後も大切にしている。	利用者は近隣住民で地域行事に参加したり、面会に訪れる家族や友人が多い。馴染みの人や場所を、プランに記録して、自宅訪問や馴染みの商店へ出かけたり、身内の人々の野菜の差し入れ等があり、馴染みの関係が継続するように支援している。		
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	昼間は、なるべく居室での生活を避けて、ホールでの生活に心がけている。また、共同生活を基本にしている。			
22	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病気等で入院し、その後、退居になった場合においてなど、入院中及び今後のことなどについては、相談等に応じている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>一人ひとりの思いについては、十分ではないもののなるべく希望に沿って生活できるように支援している。</p>	<p>日常会話の中で、表情や言動から汲み取ったり、困難な場合は、生活歴や家族等の情報を把握し、得られた情報は、職員で話し合い、本人の思いや意向に沿えるように努めている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>一人ひとりの生活歴等については、入居時に家族及び本人に十分に聞き取りを行い支援している。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>入居者一人ひとり十分に把握して、ホームでの生活に生かしている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>入居者個々人が、満足して生活できる環境作りを目指して日々検討し、介護計画を作成している。</p>	<p>本人や家族・担当職員で話し合い、本人の詳細な介護記録をもとに、介護計画を作成している。モニタリングや担当者会議を毎月開催し、随時、介護計画の見直しを行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	日々の記録を充実なものにして、情報の共有を行い、ケアに活かしている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	日々の状況については対応できている。サービスの多機能化は、もう少しというところです。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	安全で豊かな生活は出来ているが、地域資源を活かしての生活の充実となると、もう少しである。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	入居前からのかかりつけ医を尊重し、入居後もそのかかりつけ医を継続しており、安心を得ている。	本人や家族等の希望するかかりつけ医の受診を支援している。往診の継続も支援している。協力医療機関のバックアップ体制も整っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	利用者個々の心身の状況については、常時看護師に相談しながら適切な処置が出来ていると思われる。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	利用者が安心して治療できるように見舞いに行ったり、また、病院関係者とは関係作りを普段より心掛けている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	終末期の場合は現在の所、取り組んではいない。そのことについて、入居前に家族と話し、了解を得ている。	重度化や終末期の対応については、ホームの方針を入居時に利用者や家族に説明し了解を得ている。今後、終末期についての取り組みは、事業所で検討中である。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています</p>	急変や事故発生時に備えての訓練については出来ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地区の防犯組合との連絡体制は出来ておらず、緊急時には協力体制を得るようになっている。	年2回、消防署の指導のもと避難訓練や消火訓練を行っている。緊急通報装置やスプリンクラーは設置済みで連絡網体制も整っている。地区の防犯組合との協力体制も整っている。災害時の備蓄もある。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりのプライバシーや人格は常に尊重しながらのケアに取り組んでいる。	利用者の人格の尊重とプライバシーの確保のため、職員の意識向上を図る研修や勉強会をしている。利用者の誇りやプライバシーを損ねないように、排泄や入浴介護時の声かけや対応に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望については、自由に表出できるような体制になっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースで生活できるように職員は努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人らしい身だしなみが出来るように普段から心掛けている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好調査をしたり、また行事や四季折々の季節感のある食べ物を希望に沿って食事に出している。また、利用者と共に食事の準備や配膳等を実施している。	利用者の身体状況に合わせた、食事形態や嗜好のメニューに配慮している。調理には、季節の食材やホームで飼っているニワトリの卵を使ったり、バイキングの日もある。利用者には、下ごしらえや盛り付け等、役割を持ってもらい、職員も一緒に食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や栄養面に関しては、職員全員で検討しながら献立を作ったりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、必ず口腔衛生を実施し、本人の能力にあったケアをしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄に関しては、全職員で取組んでいる。また、排泄記録表をもとに自立に向けたケアに取組んでいる。	一人ひとりの排泄チェック表と回数表をもとに、声かけやトイレ誘導をして排泄の自立支援を取り組んでいる。日中、リハビリパンツや布パンツ使用の利用者が多く、トイレでの排泄支援の結果として、自分の排泄パターンを理解できるような事例の結果が出ている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表をもとに、便秘に関しては、取組んでいる。個々に応じた予防法については、現在検討中である。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	当ホームは温泉であり入居者は、楽しんでいる。時間帯については、午前中の希望が多いようである。	週3回の温泉入浴で、一人ひとりの希望や体調・言葉かけを工夫しながら、午前・午後に分かれて個別に入浴を楽しむ支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠は、大切であることを職員は理解しており、気持ち良く睡眠が取れるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の服用については全職員理解しており、副作用等についても必ず、説明書を見て理解している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一日一日を楽しく過ごせるように支援はしているが利用者からの希望は今の所ないようである。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出できる支援体制はあるものの利用者からの希望はありません。	天候や利用者の体調に合わせて、近隣の散歩や買物に出かけたり、地域行事にも参加している。年間計画で季節毎に花見やドライブにも出かけている。外出の支援ができるように職員で話し合っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の大切さを理解はしているものの、所持するとなると困難な利用者が多い。			
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	「すもも便り」を毎月家族へ送付したり、近況を電話連絡するなどしての支援を行っている。			
52 19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間に関しては、常に季節感や生活感を取り入れた居心地のいいホーム作りをしている。	天窓からの照明や換気がなされ、温・湿度等は常に管理が行き届いている。フロアにテーブルやソファー・畳の間が設置されており、隣所に季節の花や手作りの工作物が飾られ、利用者は日々の暮らしをゆったりと過ごしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ベランダや畳の部屋を利用しての利用者同士思い思いの空間を利用しての過ごし方を提供している。		
53		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者個人の居室は家族と相談をしながら居心地よく暮らせるよう工夫している。	位牌やテレビ・洋服かけ・タンス・家族写真等、馴染みの物が持ち込まれている。居室入口に分かりやすい表札や工作物を掲げ、居心地のよい、個性的な居室である。	
54	20	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者個々の心身の状況については、把握しており、自立した生活が送れるように工夫している。		
55					

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)		2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
		○	2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない